

Chugin

NEWS RELEASE



令和2年5月20日
株式会社 中国銀行

「令和元年度 地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」への選定について
～地域の創業エコシステム形成への取組～

当行は、実施している岡山イノベーションプロジェクトおよび岡山テックプランターを主要事業とした「地域の創業エコシステム形成への取組」が、内閣府により「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に選定され、内閣府特命担当大臣（地方創生担当）の表彰を受けることになりましたので、お知らせします。

当行は、今後も地域における創業支援事業の高度化に努め、地元エリアから創業・起業家が継続的に誕生する仕組みを構築し、地域経済の活性化に取組んでまいります。



【概要】

名称	令和元年度 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」	
主催者	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局	
内容	地方創生への取組状況に係るモニタリング調査の中から、特徴的な取組事例を選定し、「特徴的な取組事例」として、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局のホームページに掲載。 (http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/)	
選定内容	タイトル	地域の創業エコシステム形成への取組
	取組内容	革新的な事業をおこなう起業家を対象とした「岡山イノベーションプロジェクト」および科学技術分野の研究者・起業家を対象とした「岡山テックプランター」を主要事業として、両事業のプログラムをつなぎ、相乗効果を生み出すことにより、あらゆる分野の創業・起業家が継続的に誕生する仕組みを構築。

以上

「地域の創業エコシステム形成への取組」

(中国銀行)

1. 取組の概要

- 幅広く起業家の種を発掘し、育成・支援する「岡山イノベーションプロジェクト」、科学技術分野の起業家・ベンチャーを育成・支援する「岡山テックプランター」を主要事業とし、両事業のプログラムをつなぎ、相乗効果を生み出すことにより、あらゆる分野の創業・起業家を継続的に産み出す創業エコシステムを形成。

2. 取組の目的

- 創業、起業家を継続的に産み出す仕組みを構築することで、雇用創出など地域経済活性化を図り、移住定住など地域の人口減対策につなげることを目的とする。

3. 具体的な取組内容

- **【岡山イノベーションプロジェクト(以下「OIP」)】** 主催:中国銀行、山陽新聞社 特別協賛:サンマルク財団
岡山・備後の地から次世代を担う人材を発掘・育成、表彰することで域内の創業機運を醸成すると共に、オール岡山で取り組むことで地域の産業の発展を促し、地域経済の活性化を図る。起業に必要なビジネス理論や経営知識、起業家精神を学ぶ「岡山イノベーションスクール(以下「OIS」)」と、革新的なビジネスに挑戦する学生や社会人、創業・第二創業者等の人材発掘を目的にビジネスプランや事業実例を募集・表彰する「岡山イノベーションコンテスト(以下「OIC」)」で構成。
- **【岡山テックプランター(以下「OTP」)】** 主催:中国銀行、リバネス 特別共催:小橋工業
科学技術シーズの社会実装を目指す研究者・起業家を発掘・育成することにより、地域に眠る“技術シーズ”を活用した新規事業を創出し、地域経済の活性化を図る。取組を通じてブラッシュアップしたビジネスプランを発表・表彰する「岡山テックプランングランプリ」は、共同研究や事業提携等のマッチングの場としても活用。
- OIPでは事業プランの実現・事業運営に必要な知識や考え方を習得し、OTPでは研究成果を事業プランとしてブラッシュアップする。OTPで生まれた事業を、OIPで習得した経営知識を活用して運営する相乗効果が期待できる。(OIPから生まれた科学技術ベースの事業アイデアをOTPで事業化していくことも可能)

4. 実施にあたり工夫した点(金融機関の役割・推進体制面・PDCAサイクル面等)

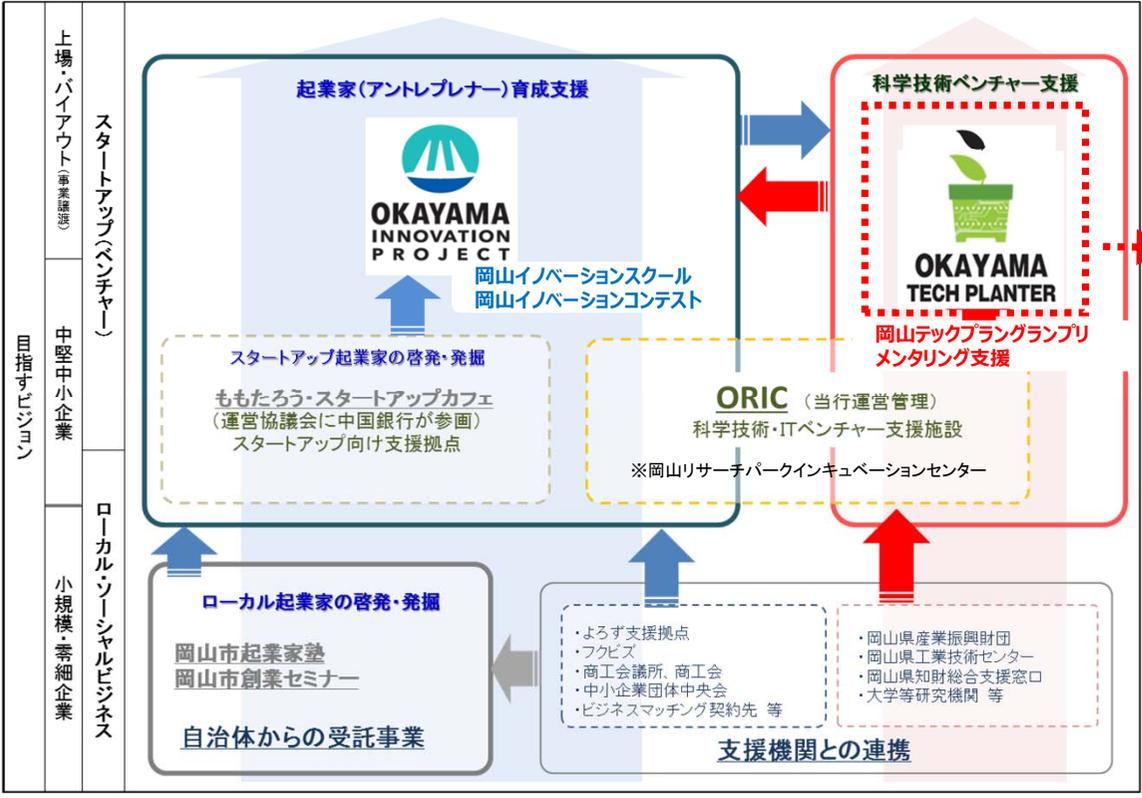
- 民間企業や地域金融機関も参加し、地域一体で支援する組織や仕組みを体系的に整備。当行組成のファンドによる出資など資金調達面でもサポート。
- 地場創業支援コミュニティ(ももたろうスタートアップカフェなど)と連携し、プロジェクトへの関与者が継続して交流できる仕組みを構築。
- 高度で専門的な知識を要する技術シーズの発掘・育成を促進するため、2018年より科学技術の専門家集団であるリバネスと連携。
- 自行行員がOTPに参画(グランプリでの聴講、エントリー者との交流、模擬審査など)することで、科学技術に対する知見・目利き力を向上させる仕組みを導入。

5. 取組の成果(取組中の場合は目標値・KPI等)

- OTP2018で「中国銀行賞」「日本ユニシス賞」を受賞した大学准教授は経営知識の習得のため、OISに参加(OICでは部門大賞を受賞)。OTPを通じて研究成果を事業化し、OISで経営知識の習得を支援したことが、今後の活躍が期待できる大学発ベンチャーの誕生につながった。
- OTP2018にエントリーした18組のうち、3名が起業(上記准教授含む)し、1名が起業準備中。
- OISの卒業生2名(白桃の長期保存技術を有する農家、高機能性ポリイミド樹脂の開発者 ※2名とも創業済み)はOTP2018に参加し、当行が設立したイノベーションファンドからの出資や融資による資金調達、共同研究、販路開拓などのハンズオン支援を受けている。
- OISは全国の優れた起業家塾をたたえる経済産業省の2018年度「創業スクール10選」に2年連続で選出。
- OIS2019の卒業生18名のうち、3名が2019年度に起業。
- 中国銀行の行員はOTPに参画したことで、科学技術に対する苦手意識が緩和し、知見や目利き力が向上。科学技術シーズを積極的に支援する意識が生まれた。

6. スキーム図等

創業エコシステム 全体像



高度な専門知識を必要とする科学技術シーズの発掘・育成を目的として、リバネスと連携し「岡山テックプランター」を開始

岡山テックプランター

目的	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域に眠る“技術シーズ”を発掘し、育成する ▶ 岡山イノベーションプロジェクトなどの創業支援プログラムをつなぎ、地域の創業エコシステムを構築する
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中国銀行及びリバネス、地域パートナー企業が一体となり、地域発の技術シーズの社会実装を支援している
成果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「岡山テックプランター2018」のエントリー18組のうち、3名の大学教授・准教授が起業、1名の大学准教授が起業に向けて準備中。 ▶ 大学准教授(医薬品判別システムの開発)の成功例 岡山テックプランター2018において中国銀行賞、日本ユニシス賞を受賞(技術のブラッシュアップ、支援者の獲得) <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">営業店によるハンズオン支援 (ORIC紹介、経営・財務・人材・助成金等に関するサポート)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">岡山イノベーションスクールに参加(経営を学ぶ)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">2019年7月会社設立(大学発ベンチャーの誕生)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">岡山イノベーションコンテスト2019において部門大賞を受賞</p>

OIPとOTPを有機的に繋ぎ、全ての創業ステージ、あらゆる分野の起業を支援

- ① 創業検討期の起業家を発掘し、ファンドによる出資などの資金支援を含めてハンズオン支援することで、次世代の地域経済の担い手を育成
- ② 各自治体がそれぞれ取組みしている「点」の創業支援事業を、当行が中心となり「面」として展開
- ③ 科学技術に精通した専門家と連携することで、銀行が不得意とする分野への支援スキームを構築
- ④ 民間企業、地域金融機関、自治体の参画により、地域全体で起業を支援する体制を構築

創業・起業家が自立的かつ継続的に生まれ、地域の産業を育むエコシステムを構築

岡山テックプランターによる支援の流れ

